

○ 目標達成状況のモニタリングと評価

道南地域の地域公共交通を取り巻く環境変化に的確に対応できるよう、計画はPDCAサイクルのもと推進するが、そのサイクルの一環として、下記の実施体制・スケジュールに基づいて目標達成状況のモニタリングと評価を実施し、その結果を踏まえ、事業の見直しや目標の見直しを検討する。

本計画の推進におけるPDCAサイクル



1 実施体制

○目標達成状況のモニタリングと評価は、道南地域公共交通活性化協議会において実施する。

2 実施スケジュール

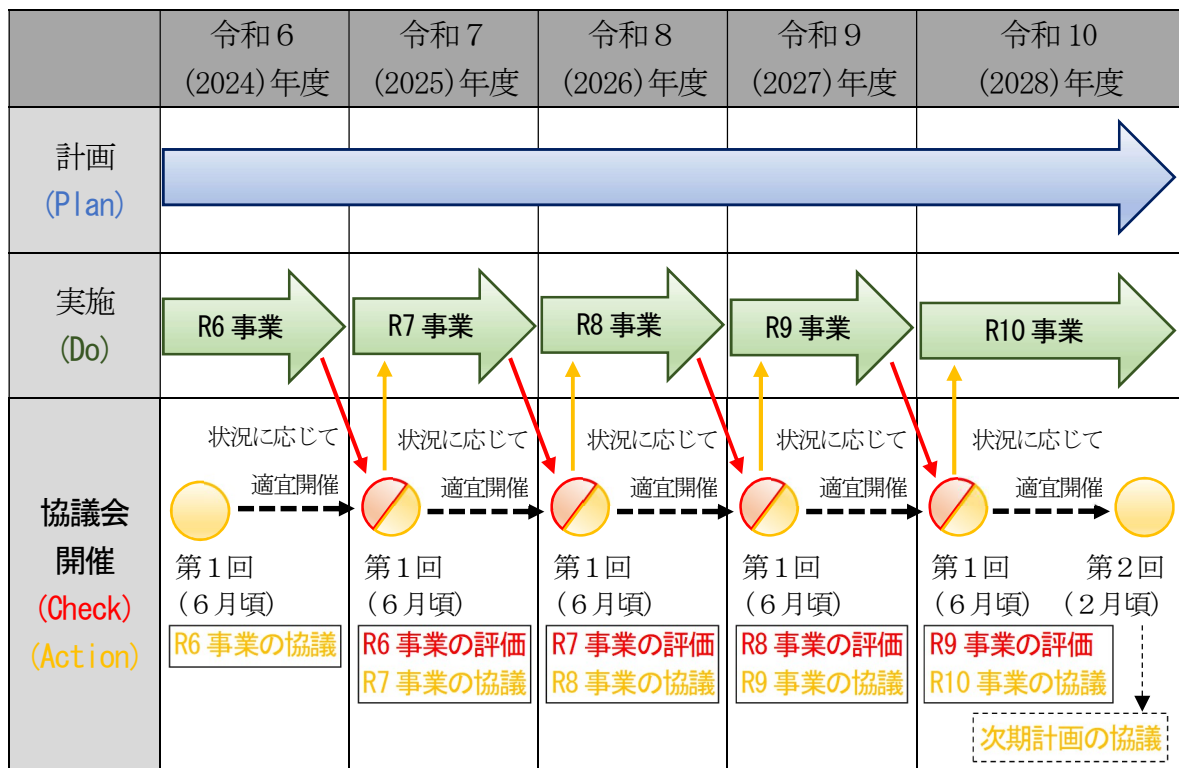
○PDCA サイクルのもと、実効性の伴う事業を効率的に実施するため、毎年度、道南地域公共交通活性化協議会を開催し、目標達成状況のモニタリングと評価を実施する。

○モニタリングと評価は、毎年6月頃に開催する協議会において実施する。

(下表の「協議会開催」欄を参照)

○なお、急な環境変化等により、上記タイミング以外で対策の検討等が必要となった場合は、随時、協議会を開催してモニタリングと評価を実施し、必要な対策の検討を行う。

計画推進スケジュール



3 実施方法

○モニタリングは、下表の測定方法により測定した数値により行う。

○目標達成状況の評価は、目標値と測定値を比較し、目標が達成されたか否かや、目標値と測定値の乖離度合い等を考慮して実施する。

○PDCAサイクルのもと、評価結果を踏まえ、目標を達成するための事業の見直しや、目標そのものの見直しを検討する。

モニタリングを行う数値の測定方法

	目標	指標	目 標 値					測定方法			
			現 状	令和6 (2024) 年 度	令和7 (2025) 年 度	令和8 (2026) 年 度	令和9 (2027) 年 度		令和10 (2028) 年 度		
1	路線数の維持	路線数	4路線		同左 →	同左 →	同左 →	同左 →	同左 →		
2	路線の1日あたりの輸送量の確保	1日あたりの輸送量	瀬棚線	23.8人	15人以上	同左 →	同左 →	同左 →	同左 →	同左 →	バス事業者から提供される数値により測定
			函館江差線	24.9人							
			檜山海岸線②	22.2人							
			江差木古内線	8.2人							
3	運行効率の維持	経常収支率	瀬棚線	31.7%	現状以上	同左 →	同左 →	同左 →	同左 →	同左 →	バス事業者から提供される数値により測定
			函館江差線	61.5%							
			檜山海岸線②	62.5%							
			江差木古内線	17.6%							
	公的資金投入額	公的資金投入額	瀬棚線	69百万円	現状以下	同左 →	同左 →	同左 →	同左 →	同左 →	バス事業者から提供される数値により測定
			函館江差線	31百万円							
			檜山海岸線②	21百万円							
			江差木古内線	57百万円							
4	観光入込客数の確保	観光入込客数	1,024千人		現状以上	同左 →	同左 →	同左 →	1,500千人	振興局から提供される数値により測定	